

高レベル放射性廃棄物の地層処分に関する「科学的特性マップ」提示について

2017年7月28日

一般社団法人 日本原子力産業協会
理事長 高橋 明男

本日、国から「科学的特性マップ」が提示された。これは各地域の地層処分に関する科学的特性について既存のデータを整理して全国地図の形で示すもので、総合資源エネルギー調査会に設置された地層処分技術ワーキンググループにおいて検討されてきたものである。

マップの提示は地層処分の実現に至る長い道のりの第一歩であって、これによって処分場所を決定するものではなく、場所を選んでいくには詳細な処分地選定調査が必要になる。

高レベル放射性廃棄物の最終処分に向けた取り組みを前に進めていくことは、原子力発電の恩恵を受けて豊かな時代を生きている我々の世代の責務であるといえる。マップの提示をきっかけとして国民の関心が高まり、各地で高レベル放射性廃棄物の処分問題について議論されることを期待する。

原子力に関わる全ての関係者は、高レベル放射性廃棄物の最終処分について国民的課題として広く問いかけ、理解が得られるよう努めていかなければならない。当協会も原子力産業界一丸となって地層処分事業の必要性などについて情報発信や対話活動を展開してまいる所存である。

以上